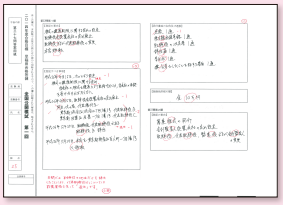
記述式答案添削例



■公平かつ統一的な採点

記述式答案の添削は本試験分析に基づいた基準に沿って厳格に、「公平かつ統一的な採点」をしています。添削はポイントをついた添削指導を行いますので、自身の弱点を的確に把握することができます。

※左記、記述式の答案画像は2014年合格目標のものです。

成績表のWeb掲載

■Web上にスピード掲載

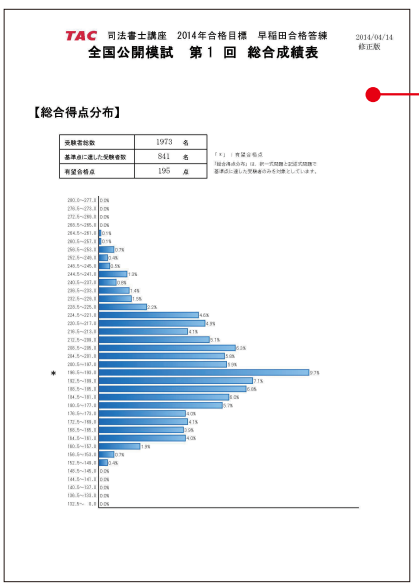
成績表をパソコンで確認できるようになりました（スマホ・タブレットOK）。「TAC WEB SCHOOL」内にPDFファイルにて掲載いたします。

※答案提出期限、成績表掲載予定日については別冊の日程表をご覧ください。

※出力紙での郵送返却を希望される場合は、答練種単位でお申込いただけます（有料）。詳細はP33をご覧ください。

全国版総合成績表

全国版総合成績表は、全国の通学生・通信生の成績データを統一的に掲載した成績表です。
「総合得点分布」、「択一式正答率」など自分の実力を客観的に把握することができます。



TAC 司法書士講座 2014年合格目標 早稲田合格答練
全国公開模試 第１回 総合成績表

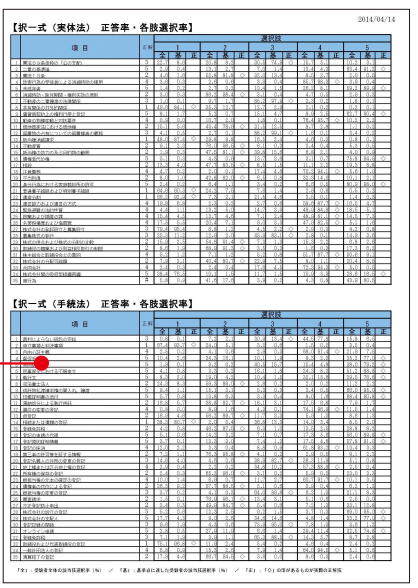
2014/04/14
修正版

【総合得点分布】

受験者総数	1973	名
基準点に達した受験者数	841	名
有望合格点	195	点

総合得点分布

「受験者総数」、「基準点に達した受験者数」、「有望合格点」を掲載。
まずは基準点に達することを目指し、毎回「基準点に達した受験者数」に入ることを目標にしてください。



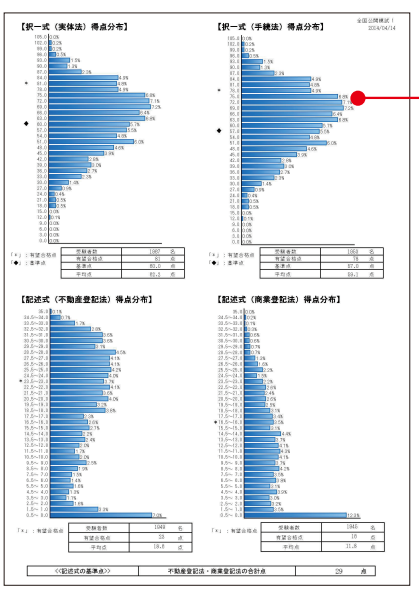
2014/04/14

【択一式（実体法） 正答率・各肢選択率】

【択一式（手続法） 正答率・各肢選択率】

択一式正答率

問題の正答率・各肢の解答率を掲載。
正答率については「全体」と「基準点に達した受験者」の2つを掲載しています。
正答率の高い問題は必ず正解するようにしましょう。



【択一式（実体法）得点分布】

【択一式（手続法）得点分布】

【記述式（不動産登記法）得点分布】

【記述式（商業登記法）得点分布】

択一式・記述式得点分布

全国の全受験者の得点分布をグラフ化しています。
自分がどの位置にいるのかが一目でわかります。

2014年度合格目標 司法書士 早稲田合格答練 全国公開模試 第１回
不動産登記法 記述式添削結果講評

2014年度合格目標 司法書士 早稲田合格答練 全国公開模試 第１回
商業登記法 記述式添削結果講評

記述式添削結果講評

作問した講師が記述式の添削結果について、間違いの多かった点や失点の原因、注意すべき点などをまとめています。今後の学習の指針として役立ちます。

成績優秀者

全国の通学生・通信生の成績優秀者の答練番号を掲載します。
自分の答練番号が掲載されるのを励みにがんばりましょう。

個人別成績表

合格するためには、自己の弱点を知り、効果的な対策を立て、弱点を克服していく必要があります。
各回ごとに、様々な角度から弱点を確認することができます。

総 合

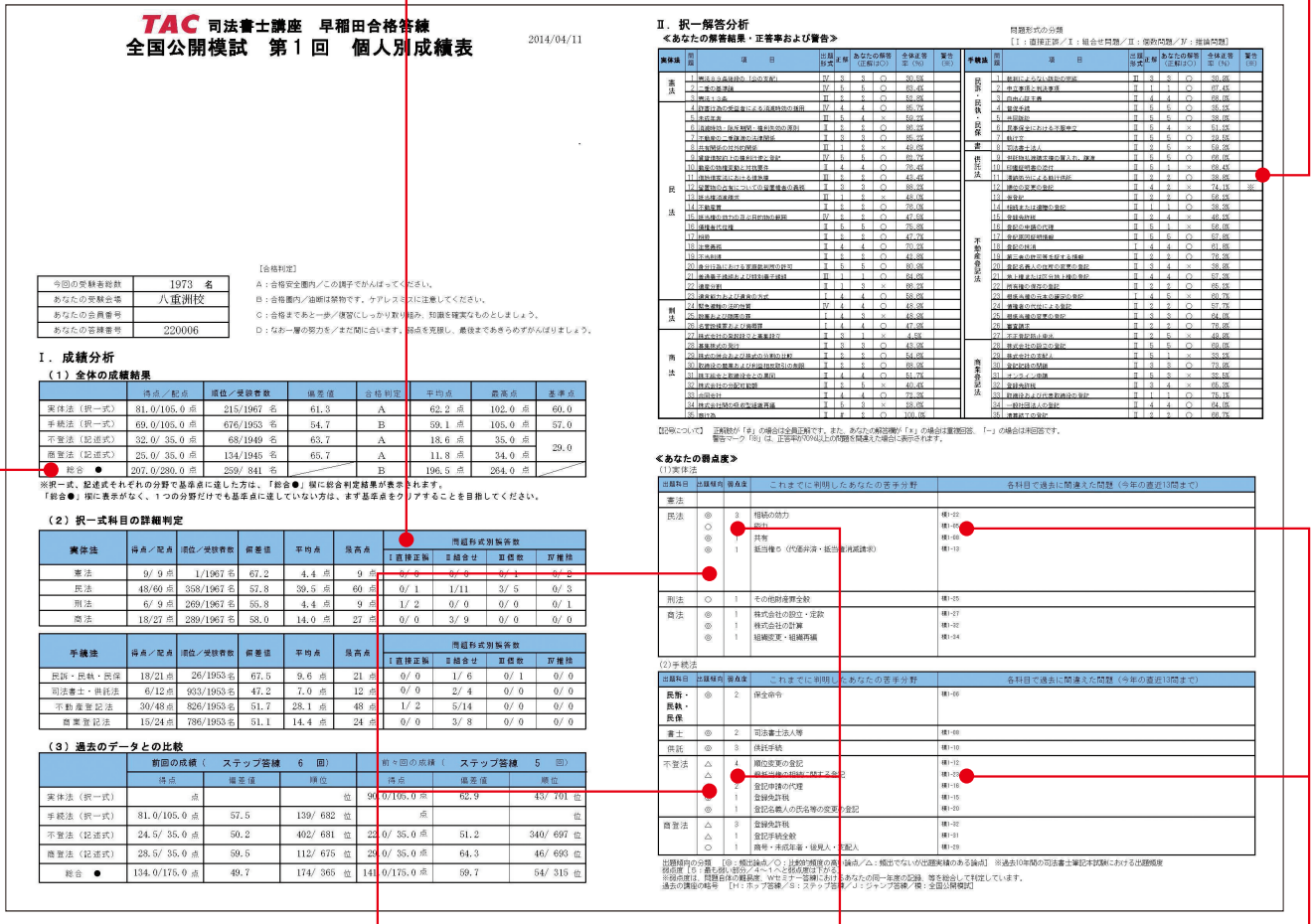
択一式・記述式それぞれの「合格基準点」をクリアした方が表示されます。

問題形式別誤答数

どの出題形式が不得意なのかを把握でき、今後の学習計画を立てる目安として活用できます。

警告マーク

全体の正答率が70%以上の問題を誤答した場合、警告マーク（※）を表示します。誰もが正解する基本的な問題を間違わないように確認しましょう。



TAC 司法書士講座　早稲田合格答練
全国公開模試　第１回　個人別成績表

2014/04/11

今回の受験者総数	1973　名
あなたの受験会場	八重洲校
あなたの会員番号	
あなたの答練番号	220006

［合格判定］
A：合格安全圏内／この調子でがんばってください。
B：合格圏内／油断は禁物です。ケアレスミスに注意してください。
C：合格まであと一歩／復習にしっかり取り組み、知識を確実なものとしましょう。
D：なお一層の努力を／まだ間に合います。弱点を克服し、最後まであきらめずがんばりましょう。

Ⅰ．成績分析

（１）全体の成績結果

	得点／配点	順位／受験者数	偏差値	合格判定	平均点	最高点	基準点
実体法（択一式）	81.0/105.0 点	215/1967 名	61.3	A	62.2 点	102.0 点	60.0
手続法（択一式）	69.0/105.0 点	676/1953 名	54.7	B	59.1 点	105.0 点	57.0
不登法（記述式）	32.0/ 35.0 点	68/1949 名	63.7	A	18.6 点	35.0 点	29.0
商登法（記述式）	25.0/ 35.0 点	134/1945 名	65.7	A	11.8 点	34.0 点	
総合 ●	207.0/280.0 点	259/ 841 名		B	196.5 点	264.0 点	

※択一式、記述式それぞれの分野で基準点に達した方は、「総合●」欄に総合判定結果が表示されます。
「総合●」欄に表示がなく、１つの分野だけでも基準点に達していない方は、まず基準点をクリアすることを目指してください。

（２）択一式科目の詳細判定

実体法	得点／配点	順位／受験者数	偏差値	平均点	最高点	問題形式別誤答数 Ⅰ直接正誤	Ⅱ組合せ	Ⅲ個数	Ⅳ推論
憲法	9/ 9 点	1/1967 名	67.2	4.4 点	9 点	0/ 0	0/ 0	0/ 1	0/ 2
民法	48/60 点	358/1967 名	57.8	39.5 点	60 点	0/ 1	1/11	3/ 5	0/ 3
刑法	6/ 9 点	269/1967 名	55.8	4.4 点	9 点	1/ 2	0/ 0	0/ 0	0/ 1
商法	18/27 点	289/1967 名	58.0	14.0 点	27 点	0/ 0	3/ 9	0/ 0	0/ 0

手続法	得点／配点	順位／受験者数	偏差値	平均点	最高点	問題形式別誤答数 Ⅰ直接正誤	Ⅱ組合せ	Ⅲ個数	Ⅳ推論
民訴・民執・民保	18/21 点	26/1953 名	67.5	9.6 点	21 点	0/ 0	1/ 6	0/ 1	0/ 0
司法書士・供託法	6/12 点	933/1953 名	47.2	7.0 点	12 点	0/ 0	2/ 4	0/ 0	0/ 0
不動産登記法	30/48 点	826/1953 名	51.7	28.1 点	48 点	1/ 2	5/14	0/ 0	0/ 0
商業登記法	15/24 点	786/1953 名	51.1	14.4 点	24 点	0/ 0	3/ 8	0/ 0	0/ 0

（３）過去のデータとの比較

	前回の成績（ ステップ答練 6 回） 得点	偏差値	順位	前々回の成績（ ステップ答練 5 回） 得点	偏差値	順位
実体法（択一式）	点		位	90.0/105.0 点	62.9	43/ 701 位
手続法（択一式）	81.0/105.0 点	57.5	139/ 682 位	点		位
不登法（記述式）	24.5/ 35.0 点	50.2	402/ 681 位	22.0/ 35.0 点	51.2	340/ 697 位
商登法（記述式）	28.5/ 35.0 点	59.5	112/ 675 位	29.0/ 35.0 点	64.3	46/ 693 位
総合 ●	134.0/175.0 点	49.7	174/ 365 位	141.0/175.0 点	59.7	54/ 315 位

Ⅱ．択一解答分析

≪あなたの解答結果・正答率および警告≫

問題形式の分類
［Ⅰ：直接正誤／Ⅱ：組合せ問題／Ⅲ：個数問題／Ⅳ：推論問題］

実体法	問題	項目	出題形式	正解	あなたの解答（正解は○）		全体正答率（%）	警告（※）
憲法	1	憲法による権利の「公の支配」	Ⅳ	3	3	○	30.0%	
	2	二重の基準論	Ⅳ	5	5	○	85.4%	
	3	憲法13条	Ⅱ	5	5	○	52.8%	
民法	4	詐欺行為の要件による表見時効の適用	Ⅳ	4	4	○	86.7%	
	5	法定担保	Ⅱ	5	4	×	59.2%	
	6	損害賠償・慰謝料・遅延利息の原則	Ⅱ	5	5	○	80.2%	
	7	不動産の二重譲渡の法律関係	Ⅰ	3	3	○	85.2%	
	8	共有関係の対対的関係	Ⅱ	1	3	×	49.0%	
	9	建物譲渡的な仮登記の登記	Ⅳ	5	5	○	89.7%	
	10	動産の物理変動と対抗要件	Ⅰ	4	4	○	75.4%	
	11	債権譲渡法における債権譲渡	Ⅲ	5	5	○	43.4%	
	12	保証契約の有効について保証責任者の義務	Ⅰ	3	3	○	89.2%	
	13	抵当権消滅請求	Ⅱ	1	5	×	48.0%	
	14	不動産質	Ⅰ	5	5	○	78.0%	
	15	抵当権の物上代位と差押の競合	Ⅳ	2	2	○	47.0%	
	16	債権者代位権	Ⅰ	5	5	○	75.8%	
	17	時効	Ⅰ	2	2	○	47.7%	
	18	法人論点	Ⅰ	4	4	○	70.2%	
	19	不法行為	Ⅰ	5	5	○	49.0%	
	20	自分は自己における家庭裁判所の許可	Ⅰ	5	5	○	80.0%	
	21	婚姻届不提出および届出の手続	Ⅱ	1	1	○	84.0%	
	22	遺言方式	Ⅰ	3	3	○	85.2%	
	23	遺産取りあるよう遺産の方式	Ⅰ	4	4	○	58.0%	
刑法	24	緊急避難の法的効果	Ⅳ	4	4	○	48.2%	
	25	故意犯および過失犯	Ⅰ	3	3	×	48.2%	
	26	犯罪論体系および構成要件	Ⅰ	4	4	○	47.0%	
商法	27	株式会社の設立登記と発起人	Ⅰ	3	1	×	4.5%	
	28	募集株式の発行	Ⅰ	3	3	○	43.3%	
	29	株式の譲渡および株式の分割の比較	Ⅰ	5	5	○	54.0%	
	30	取締役の解任および役員の任期の制限	Ⅰ	5	5	○	85.0%	
	31	株式会社と取締役との関係	Ⅰ	4	4	○	51.7%	
	32	株式会社の定款記載	Ⅰ	5	5	×	40.0%	
	33	会社法	Ⅰ	4	4	○	72.3%	
	34	株式会社間の組織変換の要件	Ⅰ	5	5	×	38.0%	
	35	種類株	Ⅰ	6	6	○	100.0%	

【記号について】　正解欄が「●」の場合は全員正解です。また、あなたの解答欄が「×」の場合は選択肢欄、「−」の場合は未回答です。
警告マーク（※）は、正答率70%以上の問題を間違えた場合に表示されます。

手続法	問題	項目	出題形式	正解	あなたの解答（正解は○）		全体正答率（%）	警告（※）
民訴・民執・民保	1	裁判によらない訴訟の終結	Ⅲ	3	3	○	30.0%	
	2	申立事項と判決事項	Ⅱ	1	1	○	87.4%	
	3	自由心証主義	Ⅱ	4	4	○	86.0%	
	4	管理手続	Ⅱ	5	5	○	35.3%	
	5	共同訴訟	Ⅱ	5	5	○	36.0%	
	6	民事保全における不服申立	Ⅱ	5	4	×	51.3%	
	7	執行文	Ⅱ	5	5	○	30.8%	
	8	司法書士法人	Ⅱ	2	5	×	54.2%	
	9	財産管理権喪失審判の審判、請求	Ⅱ	5	5	○	66.0%	
	10	印鑑証明書の交付	Ⅱ	5	1	×	69.4%	
不動産登記法	11	清算人による執行保証	Ⅱ	3	3	○	36.0%	
	12	建物の変更の登記	Ⅱ	4	2	×	74.1%	※
	13	滅失登	Ⅱ	2	2	○	56.0%	
	14	相続または遺贈の登記	Ⅱ	1	1	○	38.3%	
	15	登録免許税	Ⅱ	2	4	×	46.2%	
	16	登記の申請の代理	Ⅱ	5	1	×	56.0%	
	17	登記原因証明情報	Ⅱ	5	5	○	57.0%	
	18	登記の移転	Ⅰ	4	4	○	81.0%	
	19	第三者の許可等を証する情報	Ⅱ	2	2	○	76.3%	
	20	登記名義人の住所の変更の登記	Ⅱ	3	4	×	38.0%	
	21	第１種及び２種分筆・地積の登記	Ⅱ	4	4	○	57.3%	
	22	所有権の保存の登記	Ⅱ	2	2	○	85.3%	
	23	根抵当権の元本の確定の登記	Ⅱ	4	5	×	80.7%	
	24	権利能の代位による登記	Ⅱ	2	2	○	57.7%	
	25	根抵当権の変更の登記	Ⅱ	3	3	○	64.0%	
	26	重複調査	Ⅱ	2	2	○	76.0%	
	27	不正登記防止申出	Ⅱ	2	5	×	48.0%	
商業登記法	28	株式会社の設立の登記	Ⅱ	5	5	○	68.0%	
	29	株式会社の支配人	Ⅱ	5	1	×	33.3%	
	30	登記記録の閉鎖	Ⅱ	3	3	○	73.0%	
	31	オンライン申請	Ⅱ	5	3	×	35.0%	
	32	登録免許税	Ⅱ	3	4	×	65.3%	
	33	取締役および代表取締役の登記	Ⅱ	1	1	○	76.1%	
	34	一般社団法人の登記	Ⅱ	4	4	○	84.0%	
	35	連鎖破産の登記	Ⅱ	3	5	○	66.7%	

≪あなたの弱点度≫

(1)実体法

出題科目	出題傾向	弱点度	これまでに判明したあなたの苦手分野	各科目で過去に間違えた問題（今年の直近13問まで）
憲法				
民法	◎	3	相続の効力	問1-22
	○	1	抵当	問1-17
	◎	1	共有	問1-16
	◎	1	抵当権の（代価弁済・抵当権消滅請求）	問1-13
刑法	○	1	その他財産罪全般	問1-25
商法	◎	1	株式会社の設立・定款	問1-27
	◎	1	株式会社の計算	問1-32
	◎	1	組織変更・組織再編	問1-34

(2)手続法

出題科目	出題傾向	弱点度	これまでに判明したあなたの苦手分野	各科目で過去に間違えた問題（今年の直近13問まで）
民訴・民執・民保	◎	2	保全命令	問1-06
書士	◎	2	司法書士法人等	問1-08
供託	◎	3	供託手続	問1-10
不登法	△	4	順位変更の登記	問1-12
	△	1	根抵当権の根抵当権に関する登記	問1-13
	○	2	登記申請の代理	問1-16
	◎	1	登録免許税	問1-15
	◎	1	登記名義人の氏名等の変更の登記	問1-20
商登法	△	3	登録免許税	問1-32
	△	1	登記手続全般	問1-31
	○	1	商号・未成年者・後見人・支配人	問1-29

出題傾向の分類　［◎：頻出論点／○：比較的頻度の高い論点／△：頻出でないが出題実績のある論点］　※過去10年間の司法書士筆記本試験における出題頻度
弱点度［５：最も弱い弱点／４～１へと弱点度は下がる］
※弱点度は、問題自体の難易度、Ｗセミナー答練におけるあなたの同一年度の記録、等を総合して判定しています。
過去の講座の略号　［H：ホップ答練／S：ステップ答練／J：ジャンプ答練／模：全国公開模試］

出題傾向

過去10年間に行われた司法書士試験（択一式）の各分野の出題頻度を◎、○、△で表示。重要度が一目瞭然です。

弱点度

弱点度を1から5までの段階で表示。
5が最も弱いことを示しています。自分の弱点を正確に把握し、弱点を克服しましょう。

弱点を科学的に分析

蓄積データにより、各個人の苦手分野・問題を指摘します。早稲田合格答練の受講を重ねるほど、自己の弱点が鮮明になります。

■各答練により、成績表のレイアウトは異なります。　■上記、成績表の画像は2014年度対策のものです。